

今後のICT教育について

課題	今後の取組
<p>○PCを活用した授業の提案や、児童生徒の操作補助等、学校でのICT活用を支援するために、ICT支援員を配置しているが、教員のICT活用指導力の向上と負担感や不安の軽減が一番の課題である。</p> <p>○個人情報の流出やネットいじめ等のトラブルを防止するため、児童生徒、教員の情報モラルの醸成が不可欠である。</p> <p>○ICTを使うことが目的ではなく、ICTを活用することで、より効果的に子どもたちに力をつけることが重要である。これまで積み重ねてきた指導方法や技術のよさを活かしつつ、ICTを効果的に活用してねらいに迫る授業、取組が求められている。</p> <p>○PCを一人1台に向けて補助金を活用して整備をしたが、更新も維持費用にも補助メニューがない。</p>	<p>○ICT支援員の活用（授業支援、授業提案、相談・研修等）</p> <p>○研修の実施（導入ソフトの説明、教員のスキルに応じた研修）</p> <p>○各校の取組の発信や交流</p> <p>○情報モラル学習の実施</p> <p>○子ども主体のルールづくり</p> <p>○保護者との連携（家庭での利用方法等）</p> <p>○授業支援システムや教材の選定</p> <p>○一人1台PCの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを利用した調べ学習 ・プレゼンテーション等の表現活動 ・デジタルドリル教材を活用した個別学習 ・プログラミング学習 ・G Suite for Education等を活用した協同学習 ・家庭学習や臨時休業中のオンライン学習 ・不登校児童生徒の学習支援 ・学級活動や児童生徒会活動